

ネイティブ・シュードモナス属 サルコシン脱水素酵素

Cat. No. NATE-0663

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、サルコシン脱水素酵素 (EC 1.5.99.1) は、サルコシンのN-脱メチル化反応を触媒してグリシンを生成するミトコンドリア酵素です。この酵素は、他の受容体とともに供与体のCH-NH基に作用する酸化還元酵素のファミリーに属します。サルコシン脱水素酵素は、サルコシンへのジメチルグリシンの脱メチル化反応を触媒するジメチルグリシン脱水素酵素と密接に関連しています。サルコシン脱水素酵素とジメチルグリシン脱水素酵素の両方は、補因子としてFADを使用します。サルコシン脱水素酵素は、電子移動フラボプロテイン (ETF) によって呼吸性酸化還元連鎖に接続されています。

別名 サルコシン脱水素酵素; EC 1.5.99.1; サルコシンN-脱メチル化酵素; モノメチルグリシン脱水素酵素; サルコシン: (受容体) 酸化還元酵素 (脱メチル化); 37228-65-2; EC 1.5.8.3

製品情報

由来 シュードモナス属

形態 約60%のスクロース、10%のリン酸カリウム緩衝塩、および微量のEDTAを含む凍結乾燥粉末

EC番号 EC 1.5.99.1

CAS登録番号 37228-65-2

活性 0.5-1.5 ユニット/mg タンパク質

単位定義 1ユニットは、pH 7.5、37°Cで1分あたり1.0 μ moleのサルコシンをグリシンとホルムアルデヒドに換えます。

保管・発送情報

保存方法 2-8°C